

2021年7月5日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 掛川 三千代

バングラデシュ国ダッカ都市交通整備事業（6号線）（有償資金協力）
環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2021年6月25日（金）14:00～18:30
- ・場所：オンライン会議（Teams）
- ・ワーキンググループ委員：奥村委員、掛川委員、錦澤委員、米田委員
- ・議題：バングラデシュ国ダッカ都市交通整備事業（6号線）（有償資金協力）に係る環境レビューについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 〈EIA〉バングラデシュ国ダッカ都市交通整備事業（6号線）環境レビュー
 - 2) 〈RAP〉バングラデシュ国ダッカ都市交通整備事業（6号線）環境レビュー
 - 3) 【環境レビュー方針】バングラデシュ国ダッカ都市交通整備事業（6号線）_重大な変更
 - 4) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第126回委員会）

- ・日時：2021年7月5日（月）14:00～17:04
- ・場所：オンライン会議（Teams）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 今後、追加的に実施される社会経済調査で影響を受ける住民を明確にし、その住民の経済社会状況の分析に基づき補償がなされる場所、社会的弱者が阻害されないよう配慮しつつ、適切な調査を実施するよう実施機関に申し入れること。

環境配慮

2. 騒音はベースライン調査の段階で環境基準を大きく超過している測定地点が確認されたことから、列車の運行による影響について、適切にモニタリングを実施するとともに、問題が生じた際には先方が設置する苦情処理メカニズムが利用できることを事前に周知しておくことを含めて、対応すること。
3. 環境管理計画に基づいて実施されるモニタリング結果については、可能な限り、先方の同意を得て公開するように JICA より更なる申し入れを行うこと。

社会配慮

4. バングラデシュ側が検討している駅周辺地域の再開発計画の情報を収集し、本事業で設置されるカマルプール駅周辺の利便性も考慮した上で、その再開発計画が実施されるようにバングラデシュ政府に申し入れること。
5. 住民移転計画の実施に関するモニタリング結果については、可能な限り、先方の同意を得て公開するように JICA より更なる申し入れを行うこと。

ステークホルダー協議・情報公開

6. ステークホルダー協議の開催については、参加者や意見の聴取について懸念が残るところ、追加的にステークホルダー協議を実施すること。その実施にあたっては、今後実施される社会経済調査を踏まえ、ステークホルダーの意向が確実に聴取でき、十分な協議が担保されるよう、企画・招待の仕方・開催時のコンサルテーションのやり方、記録について実施機関と協議すること。その際、Street vendor の関係者など組織化されていないステークホルダーも考慮に入れること。
7. ステークホルダー協議の議事録は具体的な説明の内容や参加者からの意見を適切に記録したものとなるよう実施機関に申し入れること。
8. RAC（Resettlement Assistance Consultant。円借款本体で傭上される住民移転を支援するためのコンサルタント。）が RAP のアップデート、対象者の確定、補償手続き（支払いを含む）および貧困層への追加的支援を行うため、全てのプロセスにおいて適切かつ迅速に実施されるように、専門性の高いチームが確保されるよう実施機関に申し入れること。

以上